

# わかくさ

第7号

校長 大越 泰子

がんばる自分 ささえる仲間

10月19日(土)に開催した運動会は、多くの方々に御参観いただき、盛大に行うことができました。直前までインフルエンザの感染状況やコロコロ変わる天気予報にドキドキしていましたが、当日は最高のお天気のもと、休んでいた子どももほぼ復活して行うことができました。子どもたちが主体となり、自分の演技だけでなく、友だちの演技も全力応援という川村小学校らしさがいっぱいにつまった運動会となりました。やっぱり全校で行わなければこの一体感は生まれません。当日までの体調管理や日々の準備、そして当日の大きな声援、本当にありがとうございました。

**うれしい! 楽しい! 100%!**

1・2年 めくってめくって☆スーパースター

シンプルなゲームですが、意外に頭脳戦。ダンスとセットで、かっこよかったです。



3・4年 表現 超舞う!

風にたなびくハッピーがきれいでした。指先までそろった演技は本当に美しい。



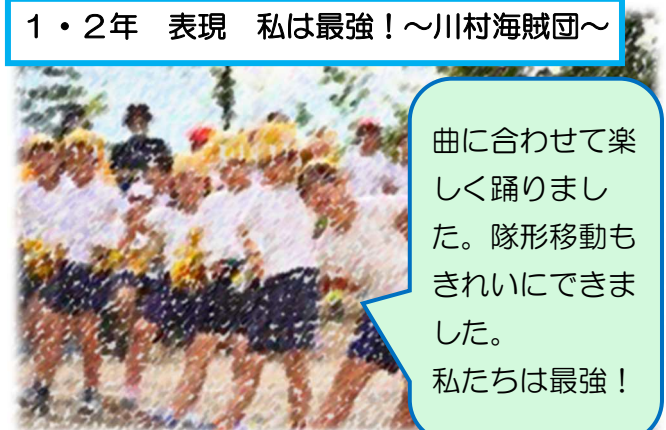
インフルエンザで思うように練習ができないことも…。迫力ある走りに「さすが高学年だね!」という声が聞こえました。



5・6年 リレー  
自分たち史上最高を目指して!

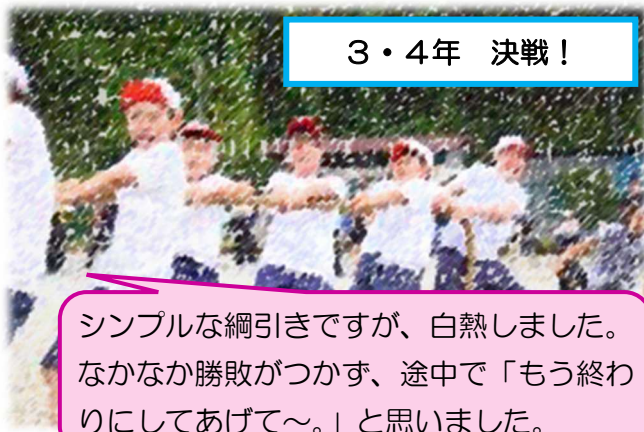
1・2年 表現 私は最強! ~川村海賊団~

曲に合わせて楽しく踊りました。隊形移動もきれいにできました。私たちは最強!



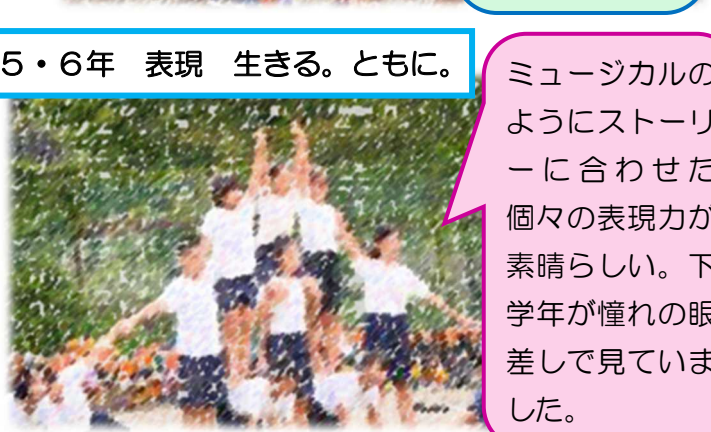
3・4年 決戦!

シンプルな綱引きですが、白熱しました。なかなか勝敗がつかず、途中で「もう終わりにしてあげて〜。」と思いました。



5・6年 表現 生きる。ともに。

ミュージカルのようにストーリーに合わせた個々の表現力が素晴らしい。下学年が憧れの眼差しで見っていました。



## 全校脱出ゲーム 10月9日

昨年の運営委員会からの念願であった「全校脱出ゲーム」が今年度実現しました。事前に運営委員が、私のところに企画書をもって相談にきました。その都度、私が計画に対し質問をしたり、心配な点を指摘したりしたことに対し、検討を重ね、案を練り上げてきました。全校児童が、初めての企画にワクワクして当日を迎えました。

リハーサルや詳細な打ち合わせがないにもかかわらず、各班の班長が全体をまとめ、大きな混乱もなく協力して3つのミッションをクリアして行きました。最後は真っ暗な体育館で、脱出のための合言葉を声を合わせ叫んだとたん、一斉に暗幕が開かれ、見事脱出成功となりました。「やってみたくて思ったことができた。」この達成感が、次への意欲につながることでしょ。



2年生が  
1年生を遊びランドに招待

### 立場が育てる 上級生としての意識



園児と一緒に昼食を食べたよ

学校では、様々な場面で異学年での活動を取り入れていきます。それは、色々な人と関わることで、コミュニケーション能力を高めて欲しいからです。また、活動の中で「どうしたら相手に喜んでもらえるか。」や「どうしたら上手に伝えることができるか。」などについて、考える機会となるからです。そんな時、子どもたちは教室とは違う表情を見せます。学校ならではの大切な学びの機会です。

## 政治的教養を育む教育 実践協力校 授業公開

今年度、本校では、山北中とともに、県の指定を受け、政治的教養を育む教育に取り組んでいます。主に、6年生の公民の授業や総合的な学習の時間で意識して実践を行ってきました。11月8日（金）5校時に6年2組で授業公開を行いました。毎年6年生は2月に行われる「こども議会」で山北町の未来のために、自分たちが考えたことを提案します。しかし今年度は取組の見直しを行い「だれのために」という対象を明確にしました。実際にグループで取材に行き、人と出会い、直接お話をうかがったことで、「提案のための、提案」ではなく、「〇〇さんと一緒に、こんな町をめざしてみたい。」そんな思いが伝わってくる内容になりました。県内各地の先生方に見ていただきご意見をいただいたことを、今後の本校の教育活動に活かしていきたいと思えます。



### 校長室の窓から

#### ただいまなさい

先日、山北町主催の青少年問題協議会に出席しました。さまざまな立場の方々が、青少年を取り巻く課題について意見を交換する会です。その中で、本校の児童のことについて2点ご意見をいただきました。1つ目は、道路の歩き方についてです。登校時よりも、気持ちが開放的になっている下校のときの方が、とても危険に感じるというご指摘です。2つ目は挨拶についてです。「登下校の子どもに声をかけるが、挨拶が返ってこないこともあり、無視されたように感じてさみしい。最近では、知らない人には挨拶をしないようにという指導をしているのでしょうか。」というものでした。翌日、昼の放送で、この2点について児童に話をしました。すると、A君が「朝はいいんだ『おはようございます』って言えばいいから。でも帰りに『おかえりなさい』って言われると、なんて返したらいいかわからないんだ。」と言いました。「『ただいま』でいいんじゃないの？」と応えたら、B君が「ぼくは『ただいまなさい』って言うようにしているよ。」というのです。「え!？」とびっくり。「年上の方が丁寧な言葉で言ってるのに、『ただいま』じゃ悪い気がする。」 A君もうなずいています。「そんなことを考えていたのか。」と驚きました。子どもは子どもなりに、色々考えていたことに気づかされました。先ほどの会議の場で、「挨拶は大人の姿も大切」という意見が出ました。子どもは大人の背中を見えています。気持ちの良い挨拶を心がけたいですね。